



杉並区と早稲田大学との 協働連携に関する覚書



杉並区と早稲田大学は、相互の独立性と自立性を基本として、
下記のとおり協力するものとする。

記

- 1 スポーツ科学の先端研究を進める早稲田大学は、杉並区が実施する、スポーツの振興や基礎体力の向上、区民の健康づくりなど「健康都市」をめざす施策を支援する。
- 2 「健康都市」をめざす杉並区は、早稲田大学が行うスポーツを通じた青少年育成活動及びスポーツ普及活動、スポーツ医科学に関する調査研究活動等について支援する。

平成 15 年 5 月 28 日

杉並区長

山田 宏

早稲田大学総長

白井 克彦

杉並区と早稲田大学との協働の覚書をふまえた事業について

〔早稲田大学ラグビー場の上井草移転がきっかけに〕

昨年、早稲田大学ラグビー蹴球部の13年振りの優勝に際して、上井草自治会・商店会を始め、地元をあげて優勝パレードを開催し、まち全体が優勝ムードにあふれました。また、区立三谷小学校に、同小学校OBをはじめラグビー部員が赴いて指導を行い、小学生との交流を深めました。

また、早稲田大学は、上井草の大学グラウンドなどを活用し、少年ラグビー教室を行うなど、地域に根ざしたスポーツ交流を進めています。

このように、昨年7月の早稲田大学ラグビーグラウンドの上井草への移転を契機に、地元自治会や商店会、学校、区役所と早稲田大学は交流を深めてきました。

このような動きをきっかけに、今回、早稲田大学と杉並区は、スポーツ・健康づくりの分野で互いに協力しあう覚書を締結します。

〔スポーツ・健康づくりをキーワードに相互協力～3Cの協働〕

この覚書締結により、早稲田大学は、52万区民が健康でいきいきと暮らす「健康都市」を目指す杉並区に協力し、また、杉並区は早稲田大学が行うスポーツ普及やスポーツ医科学に関する調査研究活動等について協力していくこととなりました。

現在杉並区は、「健康都市」を目指して、健康づくり推進員の活動・自主グループへの支援など各種健康づくり事業や、スポーツ教室などを実施しています。こうした活動は区や教育委員会だけでなく、区の外郭団体の「杉並区スポーツ振興財団」でもスポーツを通じた健康都市づくりをめざし、区民の心身の健全な発達や豊かな人間性の醸成、コミュニティ形成のきっかけづくりを行っています。

この取り組みは、杉並版「3C協働体制」といえます。コミュニティ（自治会や商店会などの地域）、カレッジ（早稲田大学）、コーポレーションズ（区やスポーツ振興財団など各種団体）、それぞれが主体性を発揮しつつ、協働するものです。

このことによって、今後は、これまでの取り組みの中に、早稲田大学のスポーツ科学の先端研究の成果を活かした事業を展開していくことが可能となります。

〔協力の第1弾は、清宮監督による講演から〕

（第1弾～清宮監督による講演「究極のリーダーシップ」）

協力の第1弾は、同大学ラグビー部清宮克幸監督による、杉並区の管理職に対する講演です。6月2日に予定しています。

（第2弾～「中高年パワーアップ教室」の開講）

次に、40歳以上の区民がいつまでも日常生活を円滑・活動的に過ごせるよう、「（仮称）中高年パワーアップ教室」の開講を検討しています。

早稲田大学スポーツ科学部の研究者を講師に、学生等も含めた早稲田の知識と人材により（早稲田大学の科学的知識・ノウハウの提供）、区立上井草スポーツセンターを会場に（杉並区による場の提供）、加齢に伴う筋機能の低下予防に有効な科学的トレーニングを、効果測定を含めて実施します。

この事業は、早稲田大学と杉並区の両方で協議し準備が整い次第、可能であれば10月頃を目途に、モデル的にスタートさせる予定です。

（第3弾～クラブ活動などにおけるスポーツ交流・児童生徒の健康づくり）

学校のクラブ活動や土曜日学校等の場で、早稲田大学の選手や学生ボランティア、OB等と生徒等とのスポーツ交流、早稲田の選手等による専門的助言・指導などを行います。ラグビー・サッカー・野球など幅広い競技スポーツの交流を考えていきます。

また、児童生徒の健康づくりを目指すために、区で予定している児童生徒の体力測定と、その分析についても協議していきます。

（第4弾～教育実習やインターンシップ、ボランティア活動）

早稲田大学が実施する教育実習やインターンシップに対して、杉並区は積極的な受け入れを行います。（杉並区による受け入れ、場や機会の提供）インターンシップについては、既に早稲田大学から申し入れがなされています。

また、区が実施する事業に早稲田大学の学生ボランティアの積極的な参加を呼びかけていきます。既に早稲田大学の「平山郁夫記念ボランティアセンター」と協議を始めています。

〔早稲田大学との協働で元気な杉並区を〕

覚書という包括的な協定を踏まえ、早稲田大学と杉並区は具体的な事業協力についての協議を重ね、より一層の連携協力を強めていきます。

例えば、健康づくりでは、当面の「(仮称)中高年パワーアップ教室」事業の中に、早稲田大学のスポーツ科学の知識・ノウハウ・人材を注入し、また、杉並区及び杉並区スポーツ振興財団の施設や事業等を活用して、21世紀にふさわしい「杉並・早稲田協働による健康づくりシステム」を創りだしていきたいと考えています。

早稲田大学と杉並区は相互の独立・自主性を尊重し、区民に親しまれ喜ばれる事業を進めつつ、大学の先端研究が一層進展し、また、52万区民が健康で暮らす、元気な杉並区の実現を目指していきます。